



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

6県(長崎県、佐賀県、福岡県、山口県、島根県、鳥取県)でケンサキイカ(地方名:マイカ、シロイカ)の情報(各地の漁況と底層水温)を共同発行しましたので、お知らせします。

I. 9月のイカ釣り漁況

① 各県の主要漁港における9月の水揚量について(平年は直近の過去5年平均)。

鳥取県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比76%、平年比30%)。
島根県	主要漁港の水揚量は、前年、平年を上回りました(前年比242%、平年比130%)。
山口県	代表2地区の水揚量は、前年、平年を上回りました(前年比522%、平年比411%)。
福岡県	代表港の水揚量は、前年、平年を下回りました(前年比24%、平年比36%)。
佐賀県	標本漁港の水揚量は、前年、平年を上回りました(前年比114%、平年比122%)。
長崎県	標本漁協の水揚量は、前年、平年を上回りました(前年比198%、平年比201%)。

※前年・平年比の評価は、90%以下では「下回る」、91%から109%では「並み」、110%以上では「上回る」としています。

② 各県の「1日1隻当たりの漁獲量(CPUE)の月別動向」と「9月の漁獲サイズ」について

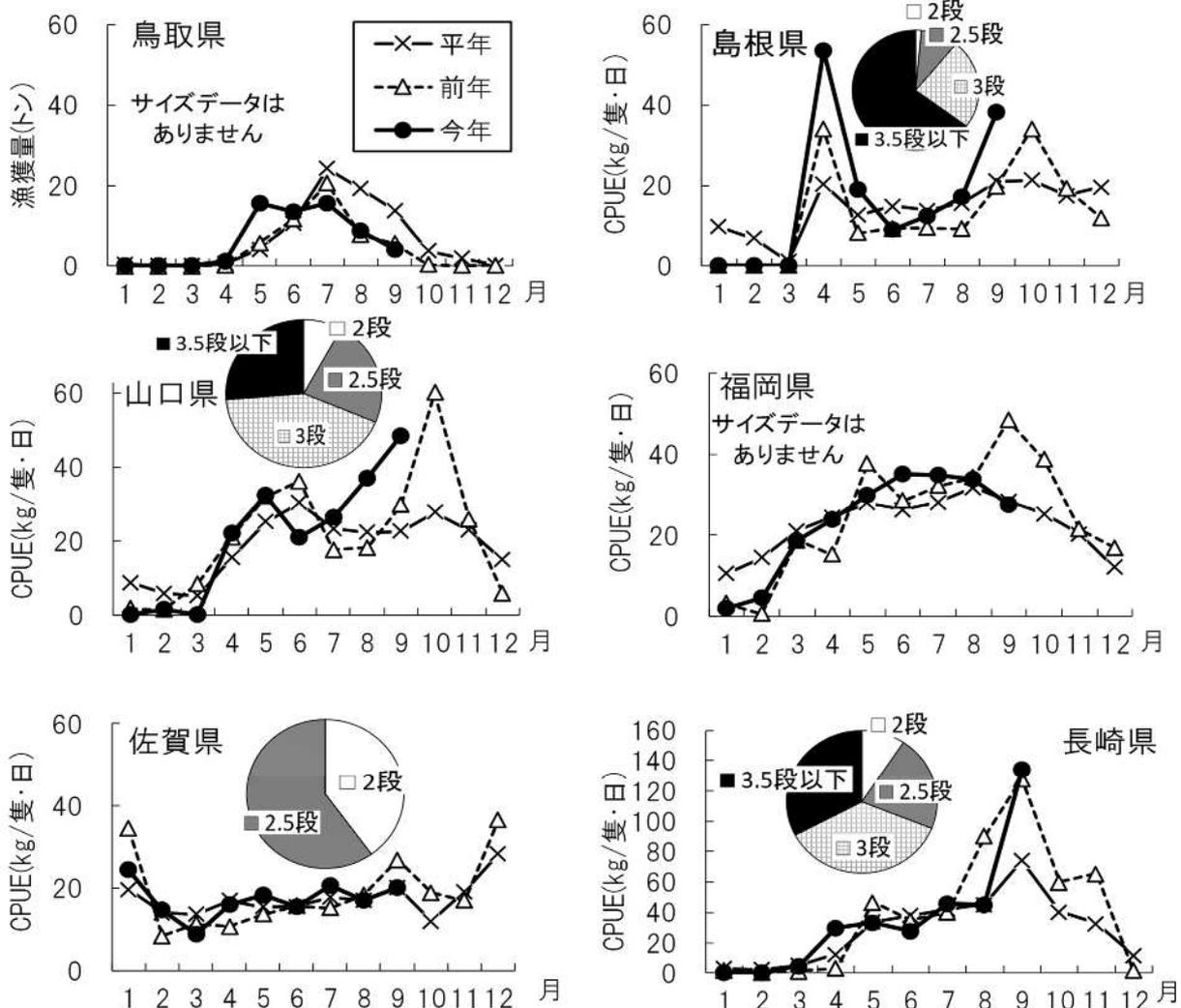


図1 各県のCPUE(折れ線グラフ)および漁獲サイズの割合(円グラフ)

※鳥取県のみ漁獲量で表示

Ⅱ. 10月上旬の底層水温

鳥取県	陸棚上（水深 32～101m）の底層水温は 15.01～22.8℃でした。
島根県	陸棚上（水深 85～140m）の底層水温は 9.3～20.9℃でした。
山口県	陸棚上（水深 53～136m）の底層水温は 11.2～23.9℃でした。
福岡県	沖合の底層水温は 17.2～20.3℃で、平年並みでした。また、水深が浅い玄界島沖（水深 29m）は前年差+2.8℃と高い水温が観測されました。
佐賀県	壱岐水道の底層水温は 24.3～25.3℃、対馬東水道は 16.3～24.4℃で、平年値と比べ-1.4～2.2℃でした。
長崎県	五島西沖の底層水温は 15～20℃でした。

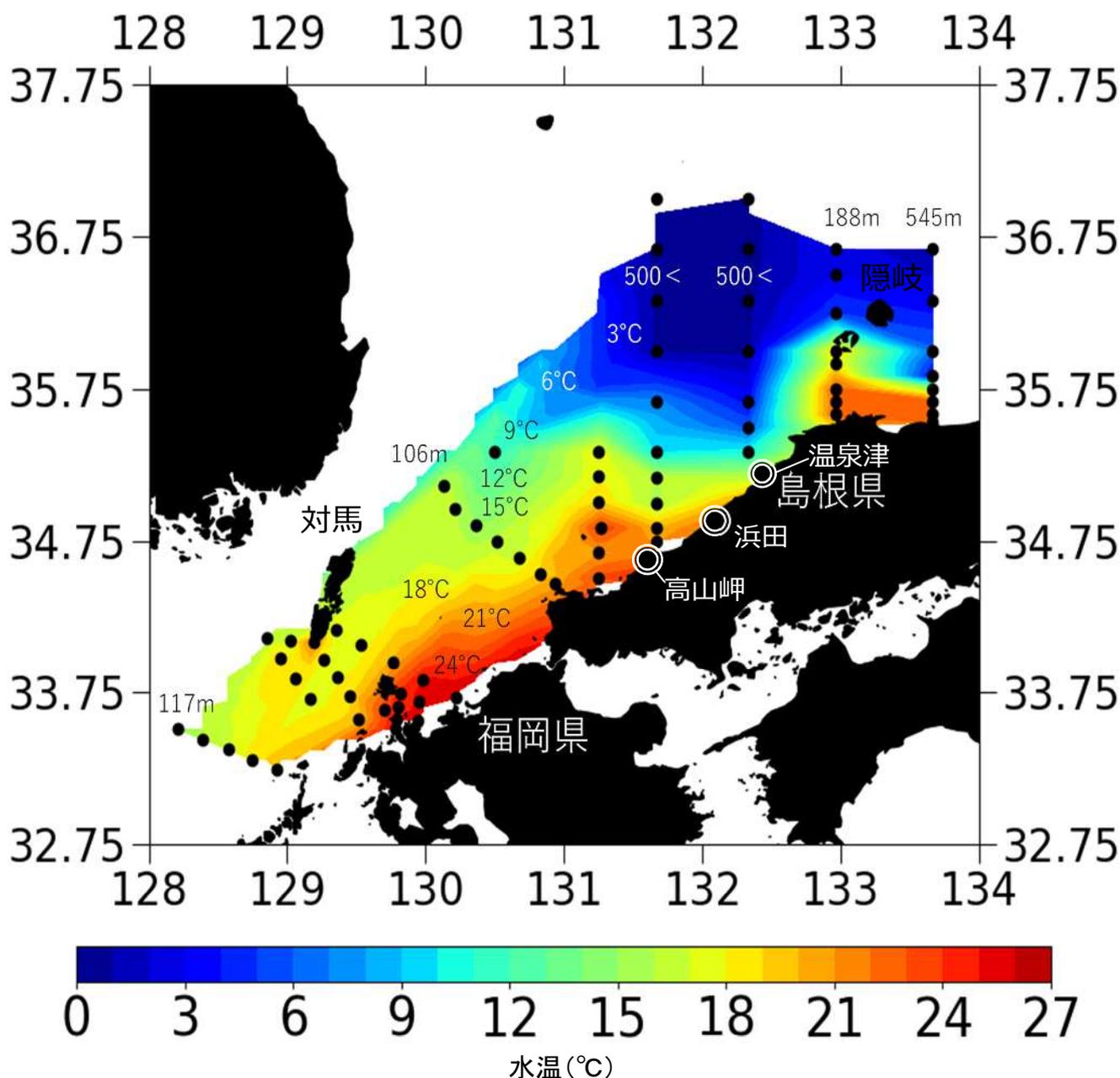


図2 長崎県～鳥取県の沿岸域・沖合域における底層の水温分布図

図中の黒丸（●）は観測点を、数字は水温もしくは水深を示しています。

※モノクロ印刷の場合、水温帯の色の識別が困難ですので、ホームページでカラー版をご覧ください。